

諮問事項 1 令和 3 年度木更津市国民健康保険税の税率（案）について
意見・質問 および 事務局回答

【意見・質問】

① 令和 3 年度国民健康保険税の税率について、近隣 3 市（君津・富津・袖ヶ浦市）は現状を維持し、変更はしないでしょうか。

② 3 市の令和 3 年度税率の所得割、均等割、平等割、限度額の状況について、わかれば教えてください。（山口委員）

<事務局回答>

①近隣 3 市とも令和 3 年度は現状維持、税率変更はありません。

②令和 3 年度君津地区 4 市の税率の状況は以下のとおりです。

4 市国民健康保険税の税率					
		木更津市	君津市	富津市	袖ヶ浦市
		2021 (R03)	2021 (R03)	2021 (R03)	2021 (R03)
医療分	所得割	8.01%	7.30%	6.60%	6.40%
	資産割	—	—	—	—
	均等割	20,000	20,000	36,000	18,000
	平等割	24,000	24,000	—	22,000
後期分	所得割	1.80%	1.80%	2.20%	1.70%
	資産割	—	—	—	—
	均等割	10,000	10,000	8,000	10,500
	平等割	—	—	—	—
介護分	所得割	1.10%	1.80%	2.00%	1.20%
	資産割	—	—	—	—
	均等割	10,000	9,900	8,000	12,500
	平等割	—	—	—	—

【意見・質問】

③（１）特例による減免を実施し、税率を上げることは・・・とあります。

特例による減免申請した件数と加入世帯数からのみた割合を教えてください。

④（３）財政調整基金の残高が・・・基金の残高内でまかなえる・・・とあります。

新型コロナウイルス感染症など不測の事態によるリスク対応の必要性から、今後も財政調整基金が一定の残高がある場合は、保険税の税率は変更しないのでしょうか。併せて、財政調整基金の必要性和基金残高の推移を教えてください。（山本委員）

<事務局回答>

③令和２年度のコロナ減免は申請２１１件、決定２０３件、却下８件でした。

減免金額は３３，２３５，０００円でした。

年度平均世帯数が１８，６４６世帯でしたので、申請割合は１．１３％でした。

④以前行っていたような、国保財政の赤字分を一般会計からの「法定外繰入」（法律に根拠がない繰入金）で補填することは原則として認められておりませんので、赤字状態が継続するようであれば放置することはできませんが、単年度の財源不足が基金以内であった場合は、税率の変更は積極的には考えておりません。景気が回復して国保加入者の収入が増加すれば税収も増加しますので、赤字額は収束していくと考えています。

国保加入世帯の高齢化が進行していく中で、健康寿命をのばすことで医療費の抑制をはかる取り組みを継続していくところですが、コロナ禍のような歳入減、病気の流行のような歳出増は予測しきれないこともあり、また、国保加入者の実質負担率はかなり高い水準にあり、財源不足に対して税率増で対応とするにしても、激変緩和の調整弁としての財政調整基金は必要であると考えています。

基金で調整することで、単年度要因で税率を上下させるのではなく、ある程度の見通しを持った税率変更を行うことが、国保財政の安定に資すると考えます。

財政調整基金の直近5年間の推移は以下のとおりです。

木更津市国民健康保険特別会計財政調整基金推移					
	前年度繰越額	基金増加高	基金減少高	年度末残高	備考
平成28年度	2,016,646	1,040,201		3,056,847	
平成29年度	3,056,847	1,075,303		4,132,150	
平成30年度	4,132,150	201,588,229	-205,084,000	636,379	H29年度の黒字額が大きかったが、その分国補助金の過大交付となったため返還した。
令和元年度	636,379	98,099,556	-4,616,000	94,119,935	
令和2年度	94,119,935	85,489,392		179,609,327	

質問・意見は以上です。